

向ヶ丘遊園跡地雑木林で採集した昆虫類 (キジラミ上科、アミメカゲロウ目、ハチ目、長翅目、双翅目)

岩田芳美*・脇 一郎*

A list of Insects collected in the broad-leaved deciduous forest
of ex-Mukohgaoka Yu-enchi, Kawasaki City

Yoshimi IWATA*, Ichiro WAKI*

平成15年春に閉園となった向ヶ丘遊園跡地には、僅かな面積ではあるが雑木林が残っている。昭和20年代半ばから昭和30年代の始めまで、飽きるとなくゼフィルスを追いかけて廻した当時の若々しい雑木林の面影はなく、木々は大きくなり鬱蒼とした林となっているが、下草がはびこらずそれなりの自然環境が維持されている。

平成15年春から秋にかけて、少ない頻度ではあったが、この雑木林で昆虫調査を行った。採集し筆者らが判りえた昆虫類をリストアップし、ここに報告する。

調査においては、捕虫網によるスーピングおよび見つけ採りにより試料を集めたが、併せて誘引トラップも使用し、調査の精度を上げるよう工夫した。尚、夜間における灯火採集は行っていない。誘引トラップには薬剤としてトラップ白にはサンケイ化学社製アカネコール(花の匂い)、トラップ黒には同社製マダラコール(木の匂い)を使用した。

調査に当たっては、川崎市北部公園事務所(牧野民夫所長)および川崎市青少年科学館(若宮崇令館長)に大変お世話になった。また、かわさき自然調査団(三島次郎団長)の皆さんに協力していただいた。併せ記して深謝の意を表したい。

調査結果

調査日 日中調査(主として脇担当): 5/22, 6/27, 8/7, 9/18 の計 4回。

誘引トラップ(主として岩田担当); ①4/27-5/7, ②5/7-5/15, ③5/15-5/22, ④5/22-6/5, ⑤6/5-6/18, ⑥6/18-6/26, ⑦6/26-7/3, ⑧7/3-7/11. 以上は白, 黒共通. ⑨7/11-7/17 白のみ, ⑩7/11-7/30 黒のみ. いずれも日付最後の日に誘引された昆虫類を回収した.
調査地 川崎市多摩区東生田 3丁目 向ヶ丘遊園跡地雑木林

採集記録

同翅目 Homoptera 腹吻群 Sternorrhyncha キジラミ上科 Psylloidea
トガリキジラミ科 Trioziidae

(01) アカザトガリキジラミ *Heterotrioza chenopodii* (Reuter)

4♂♂ 3♀♀, 18. IX.2003.

シロザ, アカザを宿主とし, 本来草地のキジラミである。雑木林縁の僅かな草地で得られた。キジラミ類は樹木を宿主とするものが多いが, 跡地雑木林内の樹木は大木となっているものが大半で少々の継竿ではスweepには歯が立たず, 調査の精度が上がらなかった。

脈翅上目 Neuroptera アミメカゲロウ目 Neuroptera
ヒメカゲロウ科 Hemerobiidae

(01) ホソバヒメカゲロウ *Micromus linearis* (Hagen)

1♂, 7. VIII.2003.

本種も草地に多い普通種。

(02) チャバネヒメカゲロウ *Micromus numerosus* Navas

1♂ 3♀♀, 7. VIII.2003.

樹林に多い普通種。

クサカゲロウ科 Chrysopidae

(03) イツホシアカマダラクサカゲロウ *Pseudomallada cognatellus* (Okamoto)

1♀, 22. V.2003; 2♂♂ 2♀♀, 7. VIII.2003.

樹林に多い普通種。

(04) アミメクサカゲロウ *Nacaura matsumurae* (Okamoto)

1♀, 7. VIII.2003.

大型のクサカゲロウでいずれの地でも数はそう多くない。

*かわさき自然調査団

ウスバカゲロウ科 Myrmeleontidae

(05) マダラウスバカゲロウ *Dendroleon pupillaris* (Gerstaecker)

4♂♂ 1♀, 3. VII~11. VII.2003 誘引トラップ黒; 2♂♂ 1♀, 11. VII~18. VII.2003 誘引トラップ黒;
1♂, 11. VII~17. VII.2003 誘引トラップ白; 1♀, 11. VII~30. VII.2003 誘引トラップ黒.

樹林内を棲息地とする種であるが、幼虫は細土に潜み巣穴(アリジゴク)を造らないとされている。幼虫探しも難しい種であるので、中々数多く成虫を見ることができない種である。それがこの小さな雑木林で複数見つかったということは特筆に値しよう。誘引トラップにかかることは生田緑地でも経験済であるが、特に木の匂いに誘引されるということは興味深いことである。

(06) ホシウスバカゲロウ *Glenuroides japonicus* (MacLachlan)

1♂, 18. VI~26. VI.2003 誘引トラップ黒; 1♂ 1♀, 26. VI~ 3. VII.2003 誘引トラップ黒; 1♀,
3. VII~11. VII.2003 誘引トラップ黒; 1♂, 11. VII~30. VII.2003 誘引トラップ黒.

本種は一寸した樹林があればいずれの地においても生息しているように思える普通種?であるが、いまだ生活史が判っていない。幼虫は巣穴(アリジゴク)は造らないと思われるが、樹林内を棲息地としている。本種も誘引トラップにかかり、木の匂いに引かれるようである。

(07) ウスバカゲロウ *Hagenomyia micans* (MacLachlan)

2♂, 27. VI.2003.

幼虫が典型的な巣穴(アリジゴク)を造り、かつては人家や神社、お寺の縁の下に普通に見られたものであるが、昨今は縁の下はコンクリートで固められること多く、激減した。直接日の射さない樹林内の崖下あたりが本種の幼虫の棲家を維持している。成虫は日中でも樹林内を飛翔し目にする事が多い。なぜか誘引トラップにはかからないようである。

ハチ目 Hymenoptera

広腰亜目 Symphyta

ハバチ科 Tenthredinidae

(01) セグロカブラハバチ *Athalia infumata* (Marlatt)

1♂, 22. V.2003.

(02) ツマジロクロハバチ *Macrophya apicalis* F.Smith

1♀, 22. V.2003.

(03) ヒゲナガクロハバチ *Phymatocera nipponca* Togashi

1♀, 27. IV~ 7. V.2003 誘引トラップ白.

クビナガキバチ科 Xiphydriidae

(04) クロクビナガキバチ *Xiphydria annulitibia* Takeuchi

6♀♀, 5. VI~18. VI.2003 誘引トラップ白.

森林性の種で、この地で数多く採集されたことは特筆に値する。

細腰亜目 Apocrita

有錐(ヤドリバチ)類 Parasitica

コマユバチ科 Braconidae

(01) スズメヤドリコマユバチ *Snellenius theretrae* (Watanabe)

1♂, 7. VIII.2003.

ヒメバチ科 Ichneumonidae

(02) クロヒメバチ *Amblyjoppa cognatoria* (F.Smith)

1♂, 22. V.2003.

(03) タマヌキケンヒメバチ *Jezarotes tamanukii* Uchida

5♀♀, 27. IV.2003.

(04) クロフシヒラタヒメバチ *Pimpla pluto* Ashmead

1♀, 18. IX.2003.

(05) シロスジトゲヒメバチ *Togea albofasciata* Uchida

1♀, 18. IX.2003.

アシプトコバチ科 Chalcididae

- (06) イシイツヤアシプトコバチ *Antrocephalus ishiii* Habu
1♂, 7. VIII.2003; 1♀, 18. IX.2003.
(07) ヒメツヤアシプトコバチ *Antrocephalus murakamii* Habu
1♀, 22. V.2003; 1♀, 27. VI.2003.

ヒラタタマバチ科 Ibalidae

- (08) ニホンヒラタタマバチ *Ibalia japonica* Matsumura
1♀, 27. VI.2003.
森林性の種で、本種は前出クロクビナガキバチに寄生している可能性がある。

有剣(カリバチ・ハナバチ)類 Aculeata

アリガタバチ科 Bethyridae

- (01) ムカシアリガタバチ *Acrepyris japonicus* (Yasumatsu)
5♂♂, 22. V.2003.

コツチバチ科 Tiphidae

- (02) ニカコツチバチ *Tiphia sternata* Parker
1♀, 22. V.2003.

ツチバチ科 Scoliidae

- (03) キンケハラナガツチバチ *Megacampsomeris prismatica* (F. Smith)
1♀, 27. VI.2003.

ベッコウバチ科 Pompilidae

- (04) ベッコウバチ *Cyphononyx dorsalis* (Lepeletier)
1♀, 7. VIII.2003.

ドロバチ科 Eumenidae

- (05) ムモントックリバチ *Eumenes rubronotatus* Pérez
1♂, 22. V.2003.
(06) カタグロチビドロバチ *Stenodynerus chinensis simillimus* Sk. Yamane et Gusenleitner
1♀, 7. VIII.2003.

アリマキバチ科 Pemphredonidae

- (07) ジンムヨコバイバチ *Psen dzimm* Tsuneki
1♂, 7. VIII.2003.

ケラトリバチ科 Larridae

- (08) コシプトジガバチモドキ *Trypoxylon pacificum* Gussakovskij
1♀, 22. V.2003.

フシダカバチ科 Philanthidae

- (09) ヒメツチスガリ *Cerceris carinalis* Pérez
1♂ 1♀, 27. VI.2003.
(10) ナミツチスガリ *Cerceris hortivaga* Kohl
1♂, 27. VI.2003.

ムカシハナバチ科 Colletidae

- (11) ニッポンメンハナバチ *Hylaeus nippon* Hirashima
1♀, 27. VI.2003.

コハナバチ科 Halictidae

- (12) オオエチビコハナバチ *Lasioglossum (Evylaeus) ohei* Hirashima et Sakagami
1♂, 7. VIII. 2003.
- (13) コハナバチの 1種 H-4 *Lasioglossum (Evylaeus)* sp.
1♀, 27. IV~ 7. V. 2003 誘引トラップ白; 1♀, 27. VI. 2003.
- (14) シロスジカタコハナバチ *Lasioglossum (Lasioglossum) occidentis* (F. Smith)
1♀, 22. V. 2003.
- (15) アオスジハナバチ *Nomia punctulata* Dalla Torre
1♂ 1♀, 18. IX. 2003.

コシブトハナバチ科 Anthophoridae

- (16) レンニョキマダラハナバチ *Nomada rengnio* Tsuneki
2♀, 27. VI. 2003.
- (17) ニッポンヒゲナガハナバチ *Eucera (Synhalonia) nipponensis* (Pérez)
1♀, 27. IV~ 7. V. 2003 誘引トラップ白.
- (18) ヤマトツヤハナバチ *Ceratina japonica* Cockerell
1♀, 7. VIII. 2003.

ハチ目昆虫の同定は全て神奈川昆虫談話会の長瀬博彦氏にお願いした。記して厚く御礼申し上げたい。

長翅目 Mecoptera

シリアゲムシ科 Panorpidae

- (01) ヤマトシリアゲ *Panorpa japonica* Thunberg
1♂ 2♀♀, 22. V. 2003; 1♀, 27. VI. 2003; 1♀, 18. IX. 2003.

ガガンボモドキ科 Bittacidae

- (02) ヤマトガガンボモドキ *Bittacus nipponicus* Navás
1♂ 1♀, 27. VI. 2003.

記録した以外に 2♀を捕虫網に入れ確認しているが、種の保全を願ってリリースした。とにかく本種を複数見ることができ、確実に棲息していることを確認できたことは喜びである。本種はかつて関東平野の雑木林には多数棲息していた。川崎市においても多摩川沿い丘陵地域には連続的に分布していたことと思われるが、開発行為が進むにつれてどんどん棲息地が狭まり、生田緑地においては僅か 1♂を記録したに過ぎない。北部の麻生区黒川にはまだ健在のようであるが、数は少ない。それがこの小さな雑木林に確実に棲息していることを確認できたことは特筆に値する。マダラウスバカゲロウやクロクビナガキバチといい、このヤマトガガンボモドキといい、この雑木林の存在価値は極めて高く押し上げる存在と言えよう。下草がこれらの虫たちにとって良好な状態に保たれているように思える。

双翅目 Diptera

ミズアブ科 Stratiomyidae

- (01) エゾホソルリミズアブ *Actina jezoensis* (Matsumura)
1♀, 27. IV~ 7. V. 2003 誘引トラップ白.
- (02) *Allognosta flavofemoralis* Pleske
1♀, 27. IV~ 7. V. 2003 誘引トラップ黒.
- (03) *Beris* sp.
1♀, 7. V~15. V. 2003 誘引トラップ白.

シギアブ科 Rhagionidae

- (04) キイロシギアブ *Rhagio flavimediis* (Coquillett)
5♂♂ 1♀, 27. VI. 2003.

ムシヒキアブ科 Asilidae

- (05)ハラボソムシヒキ *Diotria nakanensis* Matsumura
1♀, 27. VI.2003.
(06)シオヤアブ *Promachus yesonicus* Bigot
1♀, 27. VI.2003; 1♂ 1♀, 7. VIII.2003.
(07)マガリケムシヒキ *Neoitamus angusticornis* (Loew)
1♂ 1♀, 22. V.2003.
(08)ヒサマツムシヒキ *Tolmerus hisamatsui* Tagawa
3♀♀, 27. VI.2003; 1♂, 7. VIII.2003.

ハナアブ科 Syrphidae

- (09)キタヒメヒラタアブ *Sphaerophoria philanthus* (Meigen)
1♀, 22. V.2003.
(10)マダラコシボソハナアブ *Baccha maculata* Walker
1♀, 27. VI.2003.
(11)ツヤヒラタアブ系の1種 *Melanostoma* sp.
2♂♂ 1♀, 22. V.2003.
未記載種ではない。同定できないだけ。
(12)クロベッコウハナアブ *Volucella nigricans* Coquillett
2♂♂, 27. VI.2003.
(13)ハイジマハナアブ系の1種 *Eumerus* sp.
1♂, 27. VI.2003.
どこでも見られる種であるが、同定に不安があるので一応 sp.としておく。
(14)ナミルリイロハラナガハナアブ *Xylota amamiensis* Shiraki
3♂♂, 22. V.2003.

デガシラバエ科 Pyrgotidae

- (15)オオハチモドキバエ *Adapsilia luteola* (Coquillett)
1♂, 22. V.2003.
神奈川県では珍しい種で、♂は初めての記録と思う。

ミバエ科 Tephritidae

- (16)ミスジミバエ *Bactrocera (Zeugodacus) scutellata* (Hendel)
1♀, 18. IX.2003.
(17)イヌビワハマダラミバエ *Acidiella diversa* Ito [=Ihehaze diversa]
2♂♂, 22. V.2003; 2♂♂ 1♀, 27. VI.2003.
(18)フチモンハマダラミバエ *Magnimyiolia fusca* (Ito) [=Nemoriludia fusca]
1♀, 22. V.2003.
(19)タラノキハマダラミバエ *Hemilea longistigma* (Shiraki) [=Pseudohemilea longistigma]
1♂, 22. V.2003

現在使用されているミバエ科昆虫の学名については末吉昌宏氏よりご教授ねがった。旧学名を[]内に記した。

シマバエ科 Lauxaniidae

- (20)シモフリシマバエ *Homoneura (Homoneura) euaresta* Coquillett
1♂, 22. V.2003.
(21)ヒラヤマシマバエ *Homoneura (Homoneura) hirayamae* (Matsumura)
1♀, 7. VIII.2003.
(22)ヤブクロシマバエ *Minettia (Frendelia) longipennis* (Fabricius)
1♂ 3♀♀, 22. V.2003; 2♀♀, 7. VIII.2003.
(23)*Stenganopsis* sp.
1ex., 27. VI.2003.

ヤドリバエ科 Tachinidae

(24) ヨコジマオオハリバエ *Tachina (Servillia) amurensis* (Zimin)

1♀, 27. VI.2003; 1♂, 18. IX.2003.

これら以外同定しきれない双翅目昆虫を採集している。種名が判明しだい後刻報告する。

考 察

少ない調査頻度であるので、軽々に断定的なコメントを述べるべきではないと思うが、若干の感想を記しておきたい。採集した昆虫類で、筆者らが種名を明らかにしえた種の顔触れをみると、この残された跡地雑木林は老熟化しているように思える。

樹木は大木化し、樹林内には日が射し込まず、暗い。下草は時折刈りこまれているのか、ネザサは繁茂せず良好な状態となっており、このことは大事なことで今後も是非続けて貰いたい。四季を通じて、求蜜源となる花はほとんど咲いていない。立ち枯れや倒木がある。と、言った状態で、かつての木漏れ日が射し込む若々しい薪炭林の成熟した姿をここに見ることができる。

従ってというか、棲息している昆虫類はやや多様性を欠き、いささか淋しい。しかし、このような老熟化した雑木林であるからこそ棲息を維持している貴重な種がいくつか見られることは重要なことで、近隣の萌芽更新される若木に富む雑木林や、カン、シイ、タブなどの常緑樹を主体とする社寺林とともにモザイク状に緑が保全されるように、残された自然環境を多様に維持されることを切望する。

以上